

# 静岡小だより

～気づき 考え みんなで創り出す～ 令和6年 5月号

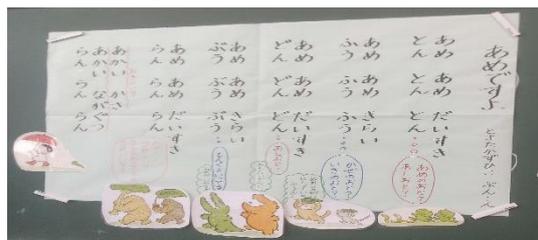
## 「気づき 考え みんなで創り出す」②

### ～学級の土台づくりを大切に～



1学期のはじめに、「担任としての願いや思いを伝え、子どもたちと共有し、どう取り組んでいくのかを子どもたちといっしょに練り上げてほしい。4月いっばいをかけて、丁寧に学級の土台を創ってほしい。」という話を職員にしました。担任は、子どもたちの思いを丁寧に引き出し、この1年間どう学ぶか、どう生活をするのか、学級の土台となるところを、実践を通して大切に築いています。何気ない日常に大切な学びがあります。

右は、1年生が学習していた詩です。言葉や文章、挿絵から場面や人物像に気づき、考えていくことは深い読みにつながります。1年生は、詩の中の言葉や挿絵から場面や人物の気持ちを考えながら詩の学習をしています。とても大事な学びです。

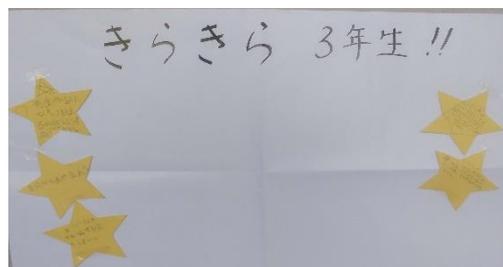


右は、1年生が学習していた詩です。言葉や文章、挿絵から場面や人物像に気づき、考えていくことは深い読みにつながります。1年生は、詩の中の言葉や挿絵から場面や人物の気持ちを考えながら詩の学習をしています。とても大事な学びです。



左は、2年生の国語の学習です。場面の様子を、言葉からイメージしています。このことを通して、子どもたちは、自分の思いをもちながら、読みに向かっていくことができます。深い読みをしていくための大切な学びです。

右は、3年生がはじめた「きらきら 3年生」です。学級のみんながよりよくつながり合うための方法をみんなで考えて、はじめた取組です。「自分たちの学級を自分たちで創ろう」という3年生の思いと力が伝わってきます。



左は、4年生の国語の学習です。教材文中の言葉から場面の様子や人物の心情を考え、気づきを広げ、その気づきを音読につなげていきます。これは、深い読みをしていくため、また正しい読みをしていくための学びになっていきます。

右は、5年生の算数の学習の様子です。担任自作の教材で、「体積の求積」、「いくつ分の数量を求める割り算」、「全体の重さを求めるかけ算」、「表から必要な情報を読み解く」など、これまでの学びを活用しながら課題解決をしています。解決に向けたプロセスの中で、子どもたちの数学的な思考は磨かれていきます。



左は、1年生を迎える会の準備をしている6年生の様子です。上級生としての立場に気づき、何ができるか考え、みんなで一つの集会を創り上げようとしています。下級生を意識した取組を経験として積み上げていく中で、リーダー性や協働性が高まっていくでしょう。静間小の中核として期待しています。

## うれしさいっぱい 1年生を迎える会



4月23日(火)1年生を迎える会をしました。1年生は「自分たちのことを考えて集会をしてくれたこと」、2年生から5年生は「全校みんなで楽しい時間を過ごすことができたこと」、6年生は「1年生が楽しく集会に参加してくれたこと」で、笑顔いっぱいの素敵な集会活動になりました。

1年生も5月を迎え、少しずつ学校生活に慣れてきました。学校がどんなところなのか分かってきたことが安心感につながっていると思います。

上級生はいつも1年生の学校生活をあらゆる場面で支えてくれています。頼りになる静間小の子どもたちです。1年生の思いをもとに「気づき 考え みんなで創り出す」ことができた集会でした。

## ハマナス園の清掃活動



4月22日(月)に、ハマナス園の清掃活動をしました。1・2年生は、ハマナス園の見学、3年生は、ハマナス園周辺の清掃、4・5・6年生は、ハマナス園内の清掃をしました。ハマナスは、静間地区の誇りの一つです。また、ハマナスがあるからこそ、地域とのつながりが生まれています。ハマナスを大事にしていくことは、

地域を守り、人とのつながりを守ることに繋がっていくと思います。子どもたちは、自分たちの役割を自覚し、時間いっぱい集中して、粘り強く、ハマナス園の見学をしたり、清掃活動をしたりしました。

最後に、私から4・5・6年生に次のような話をしました。

「ハマナスが育っているのはどうして、ここが西の端で、南の端が鳥取県の大山なんでしょう。また北海道にはたくさん育っています。この気づきから学びを創ってくれる人がいたらうれしいね。ハマナスの性質や価値が見えてきます。考えたことを、校長先生に教えてください。」という話をしました。一つの体験からの「気づき」を「学び」につなげていくクセをつけることは大切なことだと思います。